

平成 29 年 4 月 20 日
北 都 銀 行
日 本 政 策 金 融 公 庫 秋 田 支 店

戦略作物「枝豆」のメガ栽培に挑戦 ～事業立ち上げを協調で融資支援～

株式会社北都銀行（頭取 斉藤永吉、以下「北都銀行」）と日本政策金融公庫（略称：日本公庫）秋田支店農林水産事業は、秋田県の施策に基づき枝豆栽培のメガ団地化を目指す、えつりファーム株式会社（秋田県大館市、^{かぶともり}兜 森和雄代表取締役）の事業立ち上げなどに対して、農業経営基盤強化資金（通称：スーパーL 資金）を融資しましたので、お知らせします。

<ポイント>

○ 大館市の新設 4 法人が連携し枝豆栽培のメガ団地化に挑戦

秋田県は長年の課題であるコメ依存からの脱却を加速させ、農業の構造改革を図るために園芸メガ団地を整備し、野菜や花き等の産出額を飛躍的に増大させる施策を講じています。大館市では、本施策の実現と農業経営の改善のため、平成 27 年にえつりファームを含む 4 法人が新設されました。この 4 法人が連携し、県が農業振興の戦略作物として位置付ける枝豆の大規模生産（平成 30 年までに 60ha）に挑戦します。

今回、国庫補助事業（産地パワーアップ事業）及び県単独補助事業（ネットワーク型園芸拠点整備事業）を活用し、平成 28 年度からの 2 か年事業で枝豆収穫用機械の取得や集出荷施設の整備等を実施します。

○ 北都銀行と日本公庫資金の連携による金融支援

北都銀行と日本公庫は、秋田県の農業振興策と同調する今回の事業計画などを評価し、事業立ち上げに必要な設備資金、及び長期運転資金について、北都銀行が窓口となって日本公庫のスーパーL 資金 4,000 万円を融資しました。

北都銀行と日本公庫は、今後とも農業分野への金融支援や情報共有など、相互の連携を強化しながら、農業者の経営改善や 6 次産業化への支援を全力で推進してまいります。

【えつりファーム株式会社の概要】

設 立：平成 27 年 4 月 1 日

業 種：枝豆、水稲、にんにく、ブルーベリー等の生産及び販売

代表者：代表取締役 ^{かぶともり} 兜森 和雄（67 歳）

所在地：秋田県大館市池内字中台 7 6

連絡先：0186-59-6325

特 徴：秋田県の園芸振興をリードする園芸メガ団地化の施策に基づき、県が戦略作物と位置付ける枝豆のメガ団地化を目指して平成 27 年法人立ち上げ。地域の新設法人 3 社と連携し、平成 30 年には 60ha の枝豆生産を目指す。当社は、平成 28 年に枝豆 3.8ha＋水稲 15ha＋にんにく 1 ha を作付。5 年後には枝豆 24ha＋水稲 20ha＋にんにく 10ha＋ブルーベリー 1.5ha＋アスパラガス 5 ha への規模拡大にチャレンジする。



枝豆の集出荷施設と兜森代表



枝豆の収穫機械

<お問い合わせ先>

北都銀行 経営企画部広報室 Tel：018-837-1726 （担当：市田^{いちた}）

住所：〒010-0001 秋田市中通 3 丁目 1-41

日本政策金融公庫 秋田支店 農林水産事業 Tel：018-833-8249 （担当：木村、中川）

住所：〒010-0001 秋田市中通 5 丁目-1-51 北都ビルディング 4 階